

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年2月4日 (2010.2.4)

【公開番号】特開2008-146514(P2008-146514A)

【公開日】平成20年6月26日 (2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2006-335212(P2006-335212)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 D

G 0 6 F 12/00 5 0 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月14日 (2009.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力データをファイルとして格納する不揮発記憶装置を有し、前記ファイルが前記不揮発記憶装置において記憶された領域を特定するための管理情報によって管理する情報処理装置において、

前記ファイルを削除すべき場合に、前記不揮発記憶装置において当該ファイルが記憶された領域を管理する管理情報を削除する削除手段と、

前記削除手段により前記管理情報が削除される場合に、消去対象として前記管理情報により特定される前記ファイルが記憶された領域を示す消去管理情報を保存する保存手段と、

前記保存手段で保存された前記消去管理情報に従って、前記不揮発記憶装置の前記ファイルが記憶された領域に対し所定のデータを書き込むことによって当該ファイルを消去する消去手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記ファイルとは異なる第 2 のファイルが前記不揮発記憶装置に記憶された場合、前記第 2 のファイルが記憶された領域が、前記保存手段で保存された消去管理情報によって特定される領域と重複するときには当該消去管理情報によって特定される領域から前記消去手段によって前記所定のデータを書き込む領域を除外すべく前記消去管理情報を更新する手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記消去処理は、前記情報処理装置が未使用である状態が一定時間継続した場合に前記ファイルの消去を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記消去処理は、前記情報処理装置が通常電力状態から低消費電力状態へ遷移するタイミングで前記ファイルの消去を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記消去処理は、予め決められた時刻になったときに前記ファイルの消去を行うことを

特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

入力データをファイルとして格納する不揮発記憶装置を有し、前記ファイルが前記不揮発記憶装置において記憶された領域を特定するための管理情報によって管理する情報処理装置の制御方法であって、

前記ファイルを削除すべき場合に、前記不揮発記憶装置において当該ファイルが記憶された領域を管理する管理情報を削除し、

前記管理情報が削除される場合に、消去対象として前記管理情報により特定される前記ファイルが記憶された領域を示す消去管理情報を保存し、

前記保存された前記消去管理情報に従って、前記不揮発記憶装置の前記ファイルが記憶された領域に対し所定のデータを書き込むことによって当該ファイルを消去することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 7】

入力データをファイルとして格納する不揮発記憶装置を有し、前記ファイルデータが前記不揮発記憶装置のデータ記憶部に記憶されるとともに、前記不揮発記憶装置のファイル管理記憶部の管理情報を介して管理され、前記不揮発記憶装置に格納した前記ファイルが不要となった後、前記データ記憶部上で当該ファイルが占めていた領域を消去する消去処理を行う情報処理装置の制御方法において、

前記不揮発記憶装置に格納した前記ファイルが不要となった時、前記ファイルに対して消去処理待ちの属性を付与するよう、かつ、前記ファイルが特定のファイル操作では不可視となるよう前記ファイル管理記憶部の管理情報を変更し、

前記消去処理を行うべき機会が到来した場合、前記ファイル管理記憶部において前記消去処理待ちとなっているファイルが占めている前記データ記憶部上の領域を所定の無意味なデータを用いて消去する消去処理を行うことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置の各手段をコンピュータにより実現することを特徴とする情報処理装置の制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記課題を解決するため、本発明の情報処理装置は、入力データをファイルとして格納する不揮発記憶装置を有し、前記ファイルが前記不揮発記憶装置において記憶された領域を特定するための管理情報によって管理する情報処理装置であって、前記ファイルを削除すべき場合に、前記不揮発記憶装置において当該ファイルが記憶された領域を管理する管理情報を削除する削除手段と、前記削除手段により前記管理情報が削除される場合に、消去対象として前記管理情報により特定される前記ファイルが記憶された領域を示す消去管理情報を保存する保存手段と、前記保存手段で保存された前記消去管理情報に従って、前記不揮発記憶装置の前記ファイルが記憶された領域に対し所定のデータを書き込むことによって当該ファイルを消去する消去手段とを有する。